

神戸市看護大学大学院
助産学実践コース カリキュラムマップ

区分	科目名	開講年次	単位数	実践看護学領域		ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)								
				ウイメンズヘルス看護・助産学分野	助産学実践コース	共通			助産学実践					
				①	②	③	①	②	③	④	⑤			
				① ウイメンズヘルス看護・助産学分野	② 助産学実践コース	① 生命の尊厳と人権の尊重に基づく倫理観を備え、実践・教育・研究の場で倫理的な行動をとることができる。	② 研究課題を設定し、適切な研究方法を用いて成果を得ることができる。	③ 国際的視野に立って、看護実践の動向や研究課題を把握することができる。	① 助産師として自律し、自立した専門職として役割を遂行する能力を有している。	② リプロダクティブ・ヘルス/ライツやジェンダーの視点から課題を見出し、それらに必要な行動をとることができる。	③ エビデンスに基づいた助産実践をすることができる。	④ 周産期のみならずライフサイクル全般にあるすべての女性、乳幼児、家族そして地域社会に対して健康増進を考え適切な相談、教育、支援を行うことができる。	⑤ リーダーシップとフォローアップを発揮して多職種・組織メンバーと連携・協働し、より質の高いケアの実現に取り組む能力を有している。	
共通	看護学研究概論	1	2	■			◎	○						
	教育心理学	1	2	■			◎	○						
	英語プレゼンテーション	1	2	■			○	◎						
	課題研究	2	2	■			◎	○						
	現象学研究	1	2	□			◎	○						
	心理社会的測定法	1	2	□	○		◎							
	フィールドワーク論	1	2	□			◎	○						
	推計学	1	2	□			◎							
科学論文精読	1	2	□			◎	○							
専門	ウイメンズヘルス看護・助産学特講	1~2	2	●						○		◎		
	周産期母子援助論	2	2	●					◎			○		
	助産学原論	1	2	●	○			◎						
	助産とコミュニティ	1	2	●				○				◎		
	助産の政策と管理	2	2	●				○					◎	
	女性の解剖生理学	1	2	●				○		◎				
	周産期臨床薬理学	1	1	●						◎		○		
	助産診断技術学Ⅰ	1	3	●				○		◎				
	助産診断技術学Ⅱ	1	3	●				○		◎				
	助産診断技術学Ⅲ	1	2	●				○		◎				
	新生児乳幼児援助論	1	2	●						◎		○		
	親子関係発達論	2	1	●						○		◎		
	統合ヘルスケア論	1	1	●						◎		○		
	女性カウンセリング論	1	1	●					◎			○		
	ウイメンズヘルス実習	2	1	●					○			◎		
	助産学実習Ⅰ	1	8	●				○		◎				
	助産学実習Ⅱ	2	6	●				○		◎				
	地域助産学実習	1	2	●					○			◎		
	周産期ハイリスク実習	2	2	●						◎			○	
	助産学統合実習	2	2	●				○		◎				
子育て支援論	1	1	●								◎	○		
思春期健康教育論	1~2	1	○						◎		○			
国際助産活動論	1~2	1	○			◎		○						
生殖生命倫理学	2	1	○	◎					○					
ジェンダーとセクシュアリティ	2	1	○						◎		○			

■:必修科目 □:共通科目の選択科目(2単位以上) ●:専攻分野における必修科目 ○:専攻分野関連科目の選択科目(3単位以上)